

第二回「地域と共生する超小型モビリティ勉強会」 議事録

1. 日時

平成 29 年 2 月 27 日（月）16：00～18：10

2. 場所

共用 1111 会議室（経済産業省別館）

3. 出席者

鎌田 実 東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授

石田東生 筑波大学システム情報系社会工学域 教授

井原慶子 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 特任准教授

中條芳樹 名古屋大学未来社会創造機構 高齢社会エキスパート

国交省自動車局（事務局）、都市局、道路局、観光庁

環境省、経産省

自治体（横浜市、さいたま市、東京都）、民間各社 等

4. 議題

- ① 第 1 回勉強会における宿題等について（トヨタ・日産・ホンダ、事務局）
- ② 当面の勉強会の取組み方針（事務局）
- ③ 都市部での活用について（オープンロードプロジェクト）（トヨタ）
- ④ 自治体の交通政策における超小型モビリティへの期待（さいたま市）

5. 議事要旨

- ・ 今回が初参加となる名古屋大学の中條氏、慶應義塾大学の井原准教授からの自己紹介に続き、自動車メーカー、事務局、さいたま市から、それぞれ議題に沿って発表を行った。
- ・ 意見交換における主な意見は以下のとおり。
 - 超小型モビリティの最高速度の議論のためには、道路、車両形状、ユーザー属性など、より丁寧な分析が必要ではないか。
 - 超小型モビリティが使われるシーンによっては求められる最高速度も変わるのではないか。
- ・ これらの議論及び議題②の事務局からの提案を踏まえ、これまでに分類したタイプ A～C に加え、低速の超小型モビリティについても議論を進めること及びこれら以外についても提案及び議論を進めうることが確認された。
- ・ 次回は 4 月中旬に試乗を含めて開催することとし、駐車スペース等について議題として採り上げることとなった。

以上